

第九十回帝國議會 院 郵便貯金法等の一部を改正する法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
郵便貯金法等の一部を改正する法律案(政府提出、貴族院送付)
昭和二十一年八月七日(水曜日)午前十一時二十五分開議

出席委員
委員長 稻田 直道君
委員 小池新太郎君 理事 左藤 義詮君
理事 小池新太郎君 理事 森本 義夫君
杉田 一郎君 天野 久君
西山富佐太君 石川金次郎君
杉本 勝次君 駒井 藤平君
藤本 虎喜君 井上 越君
近藤 鶴代君

八月五日委員木下榮君及び河野金昇君辭任ニ付其ノ補闕トシテ駒井藤平君及藤本虎喜君ヲ議長ニ於テ選定シテ出席國務大臣
出席國務大臣
逓信大臣 一松 定吉君
逓信政務次官 中川 重春君
逓信事務官 小池 行政君
逓信事務官 岡井彌三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案
郵便貯金法等の一部を改正する法律案(政府提出、貴族院送付)
○稻田委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、委員會ニ付託サレマシタ郵便貯金法等の一部を改正する法律案ハ、貴族院ヨリ送付ノモノデアリマシテ、ソレヲ本院ニ於テ審議スルコトニナツタデアリマスガ、先ヅ逓信大臣ヨリ提案理由ノ御説明ヲ求メルコトニ致シマス

○一松國務大臣 只今議題トナリマシタ郵便貯金法等の一部を改正する法律案ノ提案理由ヲ御説明申上ゲマス
此ノ法律案ハ現下ノ經濟事情ニ對シ、國民生活ノ安定確保ヲ圖ル目的ニテ、郵便貯金ノ最高最低制限額、簡易生命保險ノ保險金最高制限額及ビ郵便年金ノ年金最高制限額ヲ引上ゲルト共ニ、簡易生命保險及ビ郵便年金事業經營ノ適正強化ヲ期スル爲メ、契約條項ニ關スル命令變更ノ效力ヲ、既存ノ契約ニモ及ボシ得ルコトスル等、郵便貯金法、簡易生命保險法及ビ郵便年金法ノ一部ニ付キ、必要ナル改正ヲ行ハントスルモノデアリマス

先ヅ第一條ハ、郵便貯金ノ最高最低制限額ニ關スル郵便貯金法ノ一部ヲ改正セントスルモノデアリマス、郵便貯金ノ最高制限額ハ、制度創始當時ニハ五百圓ト定メラレタデアリマスガ、其ノ後經濟界ノ發展ニ伴ヒマシテ、明治三十八年一千圓ニ、大正九年二千圓ニ、昭和十六年三千圓ニ、翌十七年五千圓ニ引上ゲラレ今日ニ及ンデ居ルデアリマス、併シ此ノ最後ノ改正以來約四年間ノ經濟情勢ノ變化ハ特ニ顯著デアリマスノミナラズ、郵便貯金自體ニ於キマシテモ、昭和十七年末ニハ預入額ガ百九十九億圓ニ過ギナカッタノガ、只今デハ其ノ四倍以上ノ五百億圓ヲ超エ、一口座當リ平均貯金額モ、昭和十七年末ノ九十四圓ニ對シテ、二倍半ニ相當スル二百五十圓ニ達シ、總額四千圓ヲ超エル預金人ノ數ハ、總體ノ八%ニ相當スル百五十萬人以上ヲ

推定サレルニ至ッタデアリマス、ソコデ此ノ郵便貯金ノ最高制限額ヲ引上ゲテ、此ノ經濟情勢ノ現狀ニ對應スルト共ニ、一面國民ニ新シイ貯蓄目標ヲ與ヘテ、貯蓄心ノ喚起ヲ圖リ、「インフレ」防止策ノ一助トスルコトガ極メテ緊要ト考ヘラレルデアリマシテ、其ノ引上ノ程度ハ民營貯蓄機關ニ對スル影響ヲモ考慮シ、一萬圓トスルコトガ最モ適當デアルト思ハレルデアリマス、又郵便貯金一度ノ預入ニ付テノ最低制限額ハ最初十錢ト定メラレ、其ノ後三錢ニ引下ゲラレタコトモアリマスガ、程ナク再ビ十錢ニナリ、更ニ昭和十六年ニ五十錢ニ引上ゲラレ、最近ノ取扱ヲ見マスト、一度ノ預入額十圓以上ノモノガ約半數ヲ占メ、一圓未満ノ小口預入ハ總口數ノ四%トナツテ居ルデアリマス、勿論郵便貯金ハ零細ナ預金ヲ受入レルガ本來ノ使命デアリマスガ、サレバト云ツテ餘リ小口ノモノニコダハリ、之ニ勢力、物資ヲ費スコトハ考ヘモノデアリマシテ、今日貨幣價值ノ大幅ノ低落カラ考ヘテ、五十錢ハ如何ニモ低イトノ感ガ致スデアリマス、仍テ今回最高制限額ノ倍額引上ニ並行致シマシテ、最低制限額モ、現在ノ二倍ノ一圓ニ高メルコトガ、適當デアルト思ハレマス

次ニ第二條ノ簡易生命保險法ノ關係ト致シマシテハ、御承知ノ如ク此ノ事業ハ、大正五年十月一日、國民生活ノ安定ヲ目途トシテ創始セラレタモノデアリマスガ、爾來二十有九年間不斷ノ躍進ヲ續ケテ參リマシテ、今日見ルヤウニ輝カシキ業績ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、簡易生命保險ノ最高保險金額ハ、創始以來五圓ニ互ル引上ニ依リマシテ、現在其ノ最高制限額ハ二千圓ト相成ツテ居リ、同一ノ被保險者ガ數箇ノ保險契約ヲナス場合ニ於キマシテモ、右金額ヲ超エルコトガ出來ナイモノトサレテ居リマスガ、是デハ、最近ニ於ケル生活費ノ急激ナル昂騰ニ伴ヒ、克ク國民生活ノ安定強化ヲ確保シ、制度本來ノ機能ヲ十分ニ發揮スルコトガ出來ナクナリマシタノミナラズ、他面事業ソレ自體トシテモ、最近ニ於ケル人件費、物件費ノ急騰ニ伴ヒマシテ、多額ノ經費ヲ要スルニ至リマシタノデ、高額契約ヲ獲得スルコトニ依ツテ、努メテ事業費ヲ低減ヲ圖ル必要ガ起ツテ參ッタデアリマス、仍テ民營保險事業トノ關係ヲ考慮ノ上、茲ニ保險金最高制限額ヲ五千圓ニ引上ゲルト共ニ、一年間ニ付キ契約シ得ル現行ノ制限規定ヲ撤廢スルコトニシタデアリマス、是ガ改正ノ第一點デアリマス

次ニ改正ノ第二點ハ、獨占規定ノ廢止デアリマス、御承知ノヤウニ現在簡易生命保險事業ハ、政府ノ獨占ト云フコトニナツテ居ルデアリマスガ、之ヲ其ノ儘ニ致シテ置キマス、最高制限額引上ノ結果、民間ノ興亞保險ハ經營出來ナクナリマスシ、他方獨占規定ヲ制定シタ當時事情モ異ツテ居リマスノデ、茲ニ、保險業者ノ要請ニモ應ヘ、此ノ事業ノ政府獨占ニ關スル規定ヲ廢止シマシテ、官民兩保險ハ、ソレゾレ過去ノ經驗ニ照シ、各々得意トスル分野ヨリ相協力シテ保險思想ノ普及ニ努メ國民生活ノ安定ニ寄與スルコトニ致シタイト存ジマス

次ニ改正ノ第三點トシテ、現行ノ小兒ニ關スル保險制度ヲ改正シ、小兒ノ加入シ得ル保險金最高制限額ニ付テ成人ト區別スルコトナク、生後直チニ五千圓マデ契約ノ出來ルヤウニ致シマシタ、現行小兒保險制度實施後ニ於ケル經驗ニ依リマス、小兒ノ死亡率ハ漸次少クナル傾向ニアリマスノデ、現在ノヤウナ制度ヲ其ノ儘存置スル理由ハ、極メテ薄弱デアリマシテ、却テ小兒ノ保險的保護ニ於テモ不十分ナモノガアリマスノデ、之ヲ右ノヤウニ改正セントスルモノデアリマス、唯六歲未満ノ小兒ハ大人ニ比ベテ多少死亡率モ高イノデ、被保險者ガ六歲未満ニテ死亡シタル場合ニ於テハ、支拂フベキ保險金額ニ一定ノ制限ヲ設ケルコトトシ、之ヲ勅令デ定メルコトニシタイト存ジマス

次ニ改正ノ第四點トシテ、保險金ノ削減期間一年六月ヲ二年ニ延長シタデアリマス、御承知ノヤウニ、簡易生命保險ニ於キマシテハ、被保險者ノ身體検査ヲ行ハナイコトニナツテ居リマスノデ、保險金最高制限額ヲ五千圓ニ引上ゲマスル時ハ、今マデヨリハ病弱者ガ入ツテ來ル危險ガ多クナリマス、ソコデ事業經營ノ安固ヲ圖ル爲メ、現行ノ保險金削減期間ヲ半箇年ダケ延長致シマシテ、加入後二年內ニ死亡シタ者ニ、支拂フベキ保險金額ヲ

削減シ得ルコトニ致シタイト存ジマス

次ニ改正ノ第五點ト致シマシテ、保險契約者ガ貸付金ノ辨濟ヲシナイ場合ニ於テハ、命令ノ定メル所ニ依リ、保險金ノ減額ヲナシ得ル旨ノ規定ヲ設ケタイト思ヒマス、保險契約ハ長期ニ互ルモノデアリマスカラ、保險契約者ガ貸付ヲ受ケ、長期ニ互リ是ガ辨濟ヲシナイ時ハ、貸付金ノミガ消滅時効ニ掛カル虞ガアリマスノデ、保險契約者ガ貸付金ヲ辨濟スルコトナク命令ノ定メル期間ヲ經過シタ時ハ、貸付金ノ辨濟ニ代ヘ保險金ノ減額ヲナシ得ルモノトシ、是ガ債權ヲ確保スルコトニ致シタイト存ジマス、尙ホ從來ノ規定ニ依リマス、長期ニ互リ貸付金ヲ辨濟シナイデ其ノ儘放置シタ保險契約者ハ、多額ノ利息ト遲滞金ヲ拂ハネバナラヌコトニナリマスノデ、今回ノ如ク改正スルコトニ依リ、加入者モ亦利益ヲ受ケルコトニ相成ルノデアリマス

改正ノ第六點トシテ、成規支拂ノ範圍ニ貸付金ヲ加ヘルコトニシマシテ、現行ノ成規支拂ノ範圍ハ、保險金額及償還付金額ノ支拂ニ限定セラレテ居リマスガ、契約者貸付金ニ關スル取引モ同様ノ性質ヲ有シ、民法第四百七十八條乃至第四百八十條ニ關聯シテ、是ガ支拂ノ效力ニ關シ問題ナル機會ガ多イノデ、之ヲ成規支拂ノ範圍ニ加ヘ、貸付金拂渡ノ效力ニ付キ訴訟ヲ未然ニ防止スルコトニ致シタイノデアリマス

改正ノ第七點トシテ、政府ハ契約條項ニ關スル命令ヲ變更スル場合ニ於テ、簡易生命保險事業ノ經營ノ狀況ニ依リ、又ハ事情ノ變更ニ依リ必要アリト認メタ時ハ、簡易生命保險及郵便年金事業委員會ノ議ヲ經テ、其ノ變更ノ際、現ニ存スル保險契約ニ付テモ亦將

來ニ向ツテ其ノ效力ヲ及ボスコトヲ得ルモノト致シタイト存ジマス、申スマデモナク、簡易生命保險契約ハ長期ニ互リ繼續スベキモノデアリマスカラ、其ノ間、從來ノ契約條項ヲ變更シテ、保險事業經營ノ狀況ニ鑑ミ、且又社會情勢ノ推移變遷ニ伴ヒマシテ、之ヲ既存ノ契約ニモ適及セシムルコトヲ必要トスル場合ガ少クナイノデ、契約條項ニ關スル命令變更ノ效力ヲ、其ノ變更ノ際現ニ存スル契約ニ付テモ及ボシ得ルモノト致シタ次第デアリマス

最後ニ、第三條ノ郵便年金法ノ關係ニ付テ申上ゲマス、郵便年金ハ、大正十五年十月一日、國民生活ノ安定ヲ目的トシテ創始セラレタモノデアリマスガ、爾來十有九年間、簡易生命保險ト共ニ不斷ノ躍進ヲ續ケテ參リマシテ、今日見ルヤウニ輝カシキ業績ヲ示シテ居ルノデアリマス、郵便年金ノ最高制限額ハ、昭和十八年ニ三千六百圓ニ引上ゲラレタ今日ニ及ンデ居ルノデアリマスガ、是レ亦生活費ノ急激ナル昂騰ニ伴ヒマシテ、現在ノ年金最高制限額ニ依ツテハ、能ク國民生活ノ安定強化ヲ確保シ難ク、制度本來ノ機能ヲ十分ニ發揮スルコトガ出來ナクナツタノデアリマス、他面事業ノ自體トシテモ、高額契約ヲ獲得スルコトニ依ツテ、努メテ事業費ノ低減ヲ圖ル必要ガアリマスノデ、茲ニ年金最高制限額ヲ六千圓ニ引上ゲルコトニ致シタイト存ジマス、是ガ改正ノ第一點デアリマス

次ニ改正ノ第二點ト致シマシテ、年金受取人又ハ年金繼續受取人ガ死亡シタ場合ニ於キマシテ、其ノ者ガ支拂ヲ受クベキ年金ニシテ未ダ其ノ支拂ヲ受ケナイモノハ、勅令ノ定メル所ニ依リ、年金受取人又ハ年金繼續受取人ノ遺族

ニソレヲ支拂フモノト致シタイノデアリマス、現行法上斯様場合ノ規定ヲ缺キ、民法ノ相續規定ニ依リ支拂ツテ居ル實情デアリマスノデ、事務ノ簡素化ヲ圖リ、支拂事務ノ敏捷ヲ期スル爲メ、此ノヤウナ年金ニ付テモ、年金繼續受取人ヲ法定シタノト同理由由デ、其ノ受取人ヲ法定スルコトトシタノデアリマス

改正ノ第三點ト致シマシテ、年金ノ差押禁止規定ヲ改正シ年額六百圓ヲ超エル金額ニ付テモ之ヲ差押ヘ得ルモノト致シタノデアリマス、現行法ニ定メテ居ル年金差押不能額ハ、今日ノ經濟事情ニ照シテ、國民ノ最低生活ヲ保障セントスル此ノ制度ノ趣旨ニ副ハナイモノガアリマスノデ、茲ニ、此ノ制度額ヲ改正シ、今回引上ノ金額六千圓ガ、創始當時ノ年金額二千四百圓ノ約二・五倍ニ當ツテ居ルコトニ鑑ミマシテ、年額六百圓以下ノ年金ニ付テハ差押ヲ禁止スルコトトシタイノデアリマス

次ニ改正ノ第四點ト致シマシテ、年金支拂開始後ニ於ケル契約解除權ヲ認メルコトニ致シタイト存ジマス、郵便年金契約ハ長期ニ互リ契約繼續スルヲ常トシ、隨テ其ノ間加入者ノ私經濟生活ニ變動ヲ來スコトアルノハ、已ムヲ得ナイ所デアリマスガ、契約後ノ事情ニ備ヘ、加入者ニ自由ニ契約解除權ヲ與ヘルコトハ、年金契約ニ必然的ニ伴フ要請デアルトセバナラヌノデアリマス、之ヲ輕微ニ徵シマスルニ、年金支拂開始後契約ノ解消ヲ申出ヅル者モ極メテ多ク、且又、契約ノ申込當時ニ於テモ斯ウシタ制限ノ故ニ申込ヲ躊躇スル者モ亦少クアリマセヌノデ、茲ニ年金契約ノ解除ハ支拂開始前ノミナ

ラズ、開始後ニ於テモ自由ニ之ヲ認メルコトニ致シマシタ、尙ホ此ノ場合、契約解除權ヲ行使シ得ル者ハ、年金支拂開始前ニアツテハ年金契約者、開始後ハ年金受取人又ハ年金繼續受取人ニ限定スルモノトシタイト存ジマス

次ニ改正ノ第五點トシテ、特別返還金制度ヲ廢止スルコトニシマシタ、是ハ戰爭關係規定ヲ存置スル必要ガナイノデ、創設スルコトニシタノデアリマス

改正ノ第六點ト致シマシテハ、前申述ベマシタヤウニ、年金支拂開始後ニ於ケル契約解除權ヲ認メマシタ結果、貸付金額ヲ返還金ノ範圍内ニ改メルコトニシタイト存ジマス

尙ホ、改正ノ第七點ト致シマシテハ貸付金ニ付テモ民法第四百七十八條乃至第四百八十條ニ關聯シテ、成規支拂ニ付キ問題ナル機會ガ多イノデ、之ヲ成規支拂ノ範圍ニ加ヘマシテ、貸付金拂渡ノ效力ニ付キ訴訟ヲ未然ニ防止スルコトニ致シタイト存ジマス

最後ニ改正ノ第八點ト致シマシテ、政府ハ契約條項ニ關スル命令ヲ變更スル場合ニ於キマシテ、郵便年金事業ノ經營ノ狀況ニ依リ、又ハ事情ノ變更ニ依リ必要アリト認メマシタ時ハ、簡易生命保險ト同様、其ノ變更ノ際現ニ存スル年金契約ニ付テモ亦將來ニ向ツテ其ノ效力ヲ及ボスコトニ致シマシテ、事業ノ堅實ナル經營ニ資スルコトト致シタイノデアリマス

○左藤委員 時局下國民生活ノ安定確保ヲ圖ルト云フ目的デ御提案ニナリマシタ御趣旨、能ク了解ヲ致シマシタガ、又一面ニハ各種事業ノ適正強化ヲ期スルコト云フコトガゴザイマス、ソレニ付キマシテ今事業ノ經營ガドウ云フ狀態ニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒマス

爲ニ第一ニ預金部ノ融資狀況、其ノ概略、特ニソレガ來ルベキ非常金融ノ措置ニ依ツテ、ドウ云フヤウナ影響ヲ受ケルカ、是ハ郵便貯金或ハ年金、簡易保險、何レモ庶民大衆ノ利害ニ關スル所ガ非常ニ深刻デアリマスノデ、ソレニ對シテ通信當局トシテドウ云フ御見透シヲ御付ケニナツテ居ルカ、其ノ概略ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○一松國務大臣 只今ノ御質問御尤デアルト思ヒマス、事務當局ヨリ御答ヘサセテ戴キマス

○岡井政府委員 只今ノ左藤委員ノ御質問ニ對スル御答ヘデアリマスガ、先ヅ第一ニ預金部ノ融資狀況デアリマス、預金部ハ御承知ノ通り大藏省ノ所管ニナツテ居リマシテ、當省ガ直接關係致シテ居リマセヌガ、間接ニ聽キマシタ所ヲ御傳ヘ致シタイト思ヒマス

先ヅ原資デアリマスルガ、預金部ノ資金ノ總額ハ六百六十億三千八百二十九萬三千圓トナツテ居リマス、内譯ノ概略ヲ申上ゲマス、郵便貯金及郵便切手收入金預金、是ガ五百三十七億九千二百萬圓、貯蓄債券等收入金ノ預金ガ二十五億八千三百萬圓、簡易生命保險及郵便年金カラノ預金ガ四十一億三千五百萬圓、厚生保險カラノ預金、是ガ十四億六千二百萬圓、特殊財産預金五億二千八百萬圓、其ノ他ノ會計カラノ預金ガ二億六千三百萬圓、特殊基金保管金及供託金預金ガ一億二

千百萬圓、共濟組合及法人預金ガ一億四百萬圓、積立金其ノ他ガ三十億四千七百萬圓、合セテ先程申シマシタ通り六百六十億三千八百二十九萬三千圓、斯ウナツテ居リマス、之ヲ如何ナル方面ニ運營シテ居リマスカト申シマスレバ、先ヅ國債證券五百一億三千三百八十八萬八千圓、一般會計及特別會計ノ貸付金ガ二十億九千九百萬圓、地方債券及地方公共團體等ノ貸付金ガ四十二億八千九百萬圓、特殊銀行ナドノ債券及貸付金ガ四十一億八千九百萬圓、特殊會社ナドノ債券及貸付金ガ三十二億五百萬圓、外國國債證券、國外關係ノ債券及貸付金ガ十九億三千五百萬圓、現金ガ二億六千八百萬圓、合計致シマシテ六百六十億三千八百萬圓、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、サウ致シマシテ今回ノ補償打切ノ爲ニ影響ヲ受ケル額ニ付テハ今詳シイ數字ハ申上ゲ難キマスガ、勿論外地ノ投資モアルコト故若干ノ影響ハ免レナイコトト思ハレマス

○左藤委員 今補償打切ニ因ツテ多少ノ影響ハ免レナイデアラウトノコトデアツタガ、ソレガ庶民ニ直接利害ノアリマス貯金及年金、簡易保險等ニドウ云フ影響ヲ及ボシマスガ、一般銀行ナドハ預金ヲ相當凍結シナケレバナラナイト云フ狀況デアリマスガ、果シテ郵便貯金ノ方面ニハ庶民大衆ニ迷惑ヲ及ボサナイデ済ム御見込デアルカ、ドウ云フ御見込シテ御付ケニナツテ居ルカ伺ヒタイノデアリマス

○岡井政府委員 補償打切ニ依リマシテ先ヅ郵便貯金ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ總テ大藏省令トナツテ現ハレテ來ルデアラウト思ヒマス、金融緊急措置ノ

施行規則ノ改正ガ間モナク出テ來ルヤウニ聞イテ居リマスガ、ソレニ依リマスト郵便貯金モ一定ノ額以上ノモノハ所謂棚上ニナルノデハナイカト思ハレマス、私共ト致シマシテハ郵便貯金ハ元々庶民階級ノ小口預金デアルカラ、之ニ付テハ例外ヲ設ケテ實ヒタイト云フコトヲ強調致シマシテ、大藏省モソレニハ同感デアツタガ、愈々ト云フ時ノ其ノ筋トノ交渉ニ於キマシテ、ドウシテモソレハ區別スル必要ガナイ、シテハイケナイト云フコトニナリマシタガ爲ニ、残念ナガラ郵便貯金ニ於キマシテモ今申シマシタヤウナ結果ニナツタデアリマス、封鎖サレタ後ドウスルカ、政府ハ結果ニ於テ支拂フカドウカト云フコトハ今後ノ問題デアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ簡易保險デアルガ、簡易保險ト郵便年金、此ノ積立金ハ御手許ニ差上ゲテゴザイマス參考資料ニ載セテアリマス通り、兩方デ七十五億圓トナツテ居リマス、其ノ中デ在外投資ト致シマシテ五億三千四百萬圓ゴザイマス、是ハ恐ラク賠償ニ充テラレ、且ツ政府ハ補償シナイノデヤナイカト考ヘマス、其ノ外ニ今回ノ軍需補償打切リニ依リシテ打撃ヲ被ル會社等ノ投資額ガ三億二千萬圓ゴザイマス、是ハ全額ガ喪失サレルト云フコトハ恐ラナイノデヤナイカト思ヒマス、若シ假ニ全額喪失致シマスト致シマシテモ、其ノ額ハ兩方デ八億五千何百萬圓トナリマス、是ハ打切ニナリマシテモ、簡易保險ヤ郵便年金ニハ長期還附金或ハ滿期返還金ト云フモノヲ現在支拂ツテ居リマスガ、此ノ法律ノ改正ニ依リマシテ、簡易保險ノ方ニ於キマシテハ二十八條ノ二、郵便年金ノ方ニ於キマシテハ二十二條ノ二ノ改正ニ依

リマシテ、將來既存ノ契約ノ契約條項マデ變更スルコトガ出來ルト云フ權能ガ、政府ニ歸メラレマシタ場合ニ於キマシテハ、此ノ長期還附金ナリ、或ハ滿期返還金ナリヲ減額或ハ全然支拂ハナイト云フコトニシマスレバ、ソレニ依ツテ浮イテ來ル金ガ約八億圓程度アリマスカラ、在外資產ノ五億三千四百萬圓、軍需投資三億二千萬圓、是ガ假ニ總テ喪失サレルト致シマシテモ、民間ノ利益配當ニ相當スル長期還附金ナリ滿期返還金ナリヲ支拂ハナイト云フコトニ致シマスレバ、基本的ノ給與デアル保險金ナリ、或ハ年金ニマデハ手ヲ著ケナイデ十分ヤツテ行ケル、斯様ニ思ツテ居リマス、唯郵便年金ニ付キマシテハ、今度ノ金融緊急措置令ノ改正ニ依リマシテ、年金額一千圓ヲ超エルモノニ付キマシテハ郵便貯金ノ一萬五千圓ヲ超エル場合ト同ジヤウニ一時第二封鎖ニ入レルト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ一時封鎖スルダケデ、後デハ資金ノ關係ニ於キマシテハ支拂能力ハ十分アリマスノデ解除スルコトガ出來ル、斯様ニ存ジテ居リマス

○左藤委員 大藏省ト連絡シテ極力努力ヲシタガ、關係筋ノ制限ノ爲ニ庶民大衆ノ意ニ應ズルコトガ出來ナカッタ、洵ニ已ムヲ得ヌコトデゴザイマスガ、唯銀行其ノ他ノ預金ト同ジヤウニ棚上ヲシタ分ヲ、今後出來ルダケ早ク解決スルヤウニシタイ斯ウ云フコトデアリマシタガ、其ノ點ニ付キマシテハ郵便貯金等ノ本質ニ鑑ミマシテ、是非一ツ最善ノ努力ヲ願ヒタイト云フコトヲ切望シテ置キタイト思ヒマス

○ソレカラ契約條項ヲ變更スルコトニ依ツテ、長期還附金或ハ滿期返還金ヲ減額或ハ削除シテシマフ、ソレニ依ツ

テハ如何ガシノ損失ヲ補ハウト云フコトハ相當容易ナラヌコトデアリマシテ折角營業トシテ將來ニ希望ヲ持ツテ積立テ或ハ貯金シタモノガ、事業ノ經營ヲ救フ爲ニ無視セラレテシマフト云フコトハ、サウ簡單ニハ承認出來ナイコトデハナイカ、何トカソコニ大藏省トモ折衝シテ、庶民大衆ノ立場カラ御考慮ニナル必要ガアルト思フノデスガ、大臣ノ御所見如何デセウカ

○一松國務大臣 只今ノ郵便年金デアルトガ或ハ簡易保險ダトカ云フヤウナ、庶民階級ニ重大ナル影響ヲ及ボシマスル是等ノ金ノ支拂ニ付キマシテハ、只今政府委員カラ御答ヘシタ通りデアリマスガ、唯之ニ附加ヘテ置キタイコトハ、成程今回ノ臨時緊急措置令ニ依リマシテ、今政府委員カラ御答ヘ致シマシタヤウナ法案ヲ、最近議會ヘ提案致シマシテ、皆様方ノ御審議ヲ求メルコトニナツテ居リマス、ソレガ經濟界ニ異常ナル影響ヲ及ボスコトハ論ズルマデモゴザイマセマスガ、特ニ郵便局ニ關スル限り、所謂國營事業デアリマスルカラ、私設ノ銀行等ノ被ル影響ニ比較致シマシテ、賠償能力ハ十分ニアリマス、唯一時手續ノ濟ミマシマデハ、今政府委員ノ御答ヘ致シマシタヤウニ封鎖サレマスレドモ、能力ガアルト云フコトガ分リ次第、直チニ之ヲ解除致シマシテ、民衆ニソレ相當ニ拂戻スト云フ確信ガアリマスカラ、其ノ點ハ此ノ臨時緊急措置令ニ關シマスル銀行等ノ受ケル打撃ニ比較致シマシテ、郵便局ニ預ケテアリマス年金ダトカ、若シタハ簡易保險ノ支拂トカ云フコトニ付キマシテハ、餘程影響ガ少イト確信ヲ致シテ居リマスカラ、此ノ點ハ一ツ御安心ヲ願ヒタイト思フデアリマス、ソレ

ニ關聯致シマシテ、只今ノ所謂契約條件ノ變更、是ハ政府委員ノ説明カラ致シマスルト、國家ノ利益ノ方面カラ見テ、契約條件ヲ變更スルコト云フヤウナ説明デアツタノデ、多分アナタハ其ノ點ニ御心配ヲナサツタト思フノデスガ、國家ニ不利益ナリト變更モアリマスシ、又是等ノ庶民階級ニ不利益ナリトモ之ヲ利益ニ變更スルコト云フコトモ此ノ委員會デ出來ル、政府ハサウ云フ方面ヲ考ヘマシテ、此ノ法文ニアリマスヤウニ經營狀況ヨリ、又事情ノ變更ニ依リ必要アリト認メタ時ハ、此ノ契約條項ヲ變更シヨウ、而モ變更スルノハ、政府ガ勝手ニ變更スルノデハナクテ、所謂事業委員會ノ議ヲ經テ、或程度ハ變更シナケレバナラヌト委員會デ決議シタ時ニ、初メテ是ガ實施セラレルコトデアリマス、ソレモ此ノ委員會ハ通信行政ニ抱負經綸ヲ持ツテ居ル者ヲ入レルコトハ勿論、其ノ他學界、經驗者等ヲ以テ委員會ヲ組織シテ居ルデアリマスルカラ、非常ニ民衆ニ重大ナル影響ヲ及ボスト云フヤウナ時ニハ勿論契約條項ハ變更出來ナイコトニナリマス、サウ云フ點ニ付キマシテノ丁度「ブレイキ」ガ、此ノ委員會ニ依ツテ働クノデゴザイマスカラ、其ノ點ハ一ツ御考慮ヲ賜リタイ、又當局ト致シマシテモ是ガ非常ニ民衆ニ惡影響ヲ及ボシ、民衆ノ生活ヲ脅威スルコト云フヤウナ時宜イト云フ考ヘ方ハ持ツテ居リマセヌカラ、此ノ點ハ一ツ御諒解ヲシテ戴キタイト思ヒマス

○左藤委員 大臣ノ御説明デゴザイマシタガ、今現實ニハ八億何千萬圓ト云フ損害、ソレガ長期還附、或ハ滿期返還金ヲ削除スルコトニ依ツテ補填サレ

ヤウトシテ居レ、現實ニハヤハリ庶民大衆ノ犠牲ニ依ツテ國家ノ事業經營ヲ救ハウト云フ、丁度一部ノ資本家ト同ジヤウナ風ノ印象ヲ與ヘルト思フノデアリマス、其ノ點ニ於キマシテ只今ノ御説明ニモ擧ラズ、我々ハ相當ノ不審ヲ持ツモノデアリマシテ、委員會ハ兩方ノ「ブレイキ」ヲ仰シヤイマスガ、今現實ニ此ノ委員會ヲ作ツテヤラレルコトハ、八億何千萬圓ノモノヲ契約ヲ履行シナイデ、大衆ニ其ノ犠牲ヲ負擔セシムル、斯ウ云フ印象ヲ受ケマスガ、其ノ點ニ付テ政府ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ

ハ昭和十九年カラ廢止サレテ居ルヤウデアリマス、是ハ積立金デモ八億何千萬圓ト云フ大キナ問題デアリマスノデ、先程カラ申シマスヤウナ庶民階級ノ最モ言ヒタイ問題デアルト云フコトカラ何等カノ方法ニ依ツテ大蔵省ニ對シテ、一般會計カラ以前ノヤウニ其ノ不足ヲ補填シテ、契約ヲ履行シテ國家ニ對スル國民ノ信頼ニ應ヘル、庶民階級ノ生活ヲ擁護スル、斯ウ云フヤウナ御努力ヲナサリ、大蔵省ニ對シテ折衝ナサル思召ハゴザイマセヌカ

スルト云フコトハ回避スルノガ當然ノ義務デアリマシテ、今後ニ於キマシテモ尙ホ綿メナイデ、大蔵省ト此ノ點ニ付キマシテ折衝ヲ續ケテ行キタイと思ヒマス、尙ホ御參考ノ爲ニ申上ゲマスルガ、長期還付金或ハ満期返還金ト申シマスモノハ、民間保險ニ於キマスル利益配當デアリマシテ、其ノ額ガドノ位カト申上ゲマスルト、大體保險ノ方デスガ一件當リ二十圓程度ニナツテ居リマス、額ト致シマシテハ大シタ額デハナイト云フコト、民間ニ於キマシテハ既ニ利益配當ハ廢止シテ居リマスノミナラズ、ソレデケデハ經營ガヤツテ行ケナイト云フコトデ、保險金ノ削減マデ手ヲ著ケナケレバドウシテモヤツテ行ケナイト云フコトマデ言ハレテ居ルヤウデアリマス、此ノ點ヲ御參考マデニ申上ゲテ置キマス

スル意志バカリデナク、貯金大衆ノ利益ヲ護ルヤウナ、サウ云フ十分民主的ナ性格ヲ持ツタ組織ニシナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、此ノ委員會ノ構成或ハ運用ガ、私ハ此ノ法案ヲ通シマス上ニ於テ、非常ニ重大ナ關心事デナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ此ノ事業委員會ヲドウ云フヤウナ性格、或ハ構成ニサレマスカ、大體ノ御構想ヲ承リタイと思ヒマス

此ノ法案ノ審議ニ一番「キーポイント」ダと思ヒマスノデ、關係官廳ノ官吏ガ十名學識經驗者、其ノ選擇權ト申シマス、ソレモ殆ド關係官廳カラ委嘱ナサルと思フノデアリマスガ、ソレガ十名、三分ノ二ヲ占メルノデアリマス、又加入者ノ代表ノ中ニ貴衆兩院議員モ含メルト云フ一寸妙ナ話デアリマスガ、加入者代表ハ本當ニ民主的ナ方法ニ依ツテ選舉ナサル御積リデアルカ、或ハ關係官廳ノ方カラ天降リニ御指名ナサル御積リカ、此ノ構想ヲ此ノ機會ニバツキリト本委員會ニ於テ御示シテ戴キタイ、ソレデナケレバ此ノ法案ノ審議ハ私ハ出來ナイと思ヒマス

○一松國務大臣 ソレハ今御答ヘ致シマシタヤウニ、若シ事情ノ變遷ニ依ツテ國家ガ立チ行カスト云フヤウナ危急存亡ノ秋ニナレバ、ソレハ民衆ニ損害ヲ與ヘテモ、民衆ヨリモ國家ガ大事ダト云フヤウナコトデ、サウ云フコトヲヤラストモ限リマスマイ、併シナガラ此ノ建前ハ今左藤委員ノ非常ニ御憂慮ニナツテ居ルヤウナコトノミヲ考ヘタノデゴザイマセヌカ、今御心配ノヤウナ事態ノ時ニハ深甚ノ考慮ヲ拂ヒマシテ、或ルデケ庶民階級ニ損害ノ及ブコトノ少ナカラシムルヤウニ十分注意致シマシテ、サウ云フ弊害ハ成ルタケ發生シナイヤウニ努力致シマス、郵便年金法ノ二十二條、簡易保險法ノ二十八條ノ二ニ依リマシテモ、今アナタノ仰シヤルヤウニ、是等ノ預金者若シクハ契約者ニ對シテハ、非常ナ打撃ヲ與ヘルコトヲ我々モ能ク承知シテ居リマスカラ、其ノ點ハ十分ニ誤リナカラシムルコトヲ期シタイと思ヒマス

○岡井政府委員 御説ノ通り當局ト致シマシテハ昭和十九年ニ一般會計カラ補償スルト云フ規定ハナクナツタケレドモ、ソレガ其ノ當時ニ於キマシテハ事業ガ是デケ基礎ガ固クナリ、隆盛ニナツタ以上ハ、モウ一般會計カラ補償ヲスル必要ハナイドラウト云フノデ廢止ヲ致シタノデアリマス、併シ今日トナツテ參リマスト全ク情勢ガ變ツテ參リマシテ、ソナニ大キナ穴ガ積立金ニ空クト云フコトハ、當時ト致シマシテハ全ク豫想シナカッタ所デアリマシテ、問題ハ全ク新ナナコトニナツタノデアリマス、隨ヒマシテ私共ト致シマシテハ大蔵省ニ對シマシテ、現在ノ規定デハ補償スルト云フコトニハナツテ居ナイガ、斯ウ云フ場合ダカラ補償シテデモ契約者ニ損失ヲ及ボスコトノナイヤウニシテ置ヒタイト云フコトヲ一應ハ交渉致シマシタガ、大蔵省ト致シマシテハ一般トノ關係並ニ現下ノ財政上、ドウシテモ困ルト云フコトデ、一應ハ只今申上ゲマシタヤウナ措置ヲ執ラザルヲ得ナイト云フ考ヘニナリテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、只今ノ御説ニモアリマシタ通り、私共ト致シマシテハ極力契約者ノ利益ヲ削減

○左藤委員 只今御尋ネテ致シマシタ一般會計カラノ補填ト云フコトニ付キマシテハ、一應ノ交渉ヲシタト云フ御話デアリマスガ、只今ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、國家ガ庶民大衆ノ信頼ニ應ヘテ此ノ事業ヲ經營致シマス趣旨ニ鑑ミマシテ、最善ノ努力ヲ以テ、出來得ル限り八億何千萬圓ノ損害ヲ全部契約者ニ負擔セシメル、假令ソレガ二十圓デアラウガ、三十圓デアラウガ、サウ云フコトノ出來ルデケ少クナリマスヤウニ、是ハ今後十分ノ御審慮ヲ御願ヒシタイと思ヒマス、サウ云フヤウナ問題ヲ處置致シマス爲ニ事業ノ委員會ガ構成サレルノデアリマスガ、是ガ從來見ル如キ役所ノ思フ通りニナルホンノ諮詢機關ト云フ形ニナラナイヤウニ、此ノ委員會ガ眞ニ庶民大衆ノ血ノ出ルヤウナ叫ビヲ反映シテ、先程大臣ノ言ハレマシタ單ニ政府ノ損失ヲ補填

スル意志バカリデナク、貯金大衆ノ利益ヲ護ルヤウナ、サウ云フ十分民主的ナ性格ヲ持ツタ組織ニシナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、此ノ委員會ノ構成或ハ運用ガ、私ハ此ノ法案ヲ通シマス上ニ於テ、非常ニ重大ナ關心事デナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ此ノ事業委員會ヲドウ云フヤウナ性格、或ハ構成ニサレマスカ、大體ノ御構想ヲ承リタイと思ヒマス

○岡井政府委員 御答ヘ致シマス、此ノ委員會ハ先ヅ其ノ權限ト致シマシテ、保險法ノ二十八條ノ二、年金法ノ二十二條ノ二ニ掲ゲテ居リマス事項、其ノ外保險年金積立金ノ運用及ビ事業經營上重要ナ事項ヲ調査審議スル、斯ウ云フ權限ニナツテ居リマス、サウ致シマシテ其ノ構成ハ關係官廳ノ官吏、學識經驗者、定員ハドノ位デアリマス

○左藤委員 特別會計ノ損害ニ對シテ、一般會計カラ不足ヲ補フト云フ制度ガ以前ニハアツタヤウデスガ、ソレ

○岡井政府委員 今ノ腹案トシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデスガ、マダホンノ草案デゴザイマシテ、是カラ如何様ニモ變ヘ得ルト思ヒマス

○岡井政府委員 今ノ腹案トシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデスガ、マダホンノ草案デゴザイマシテ、是カラ如何様ニモ變ヘ得ルト思ヒマス

○岡井政府委員 今ノ腹案トシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデスガ、マダホンノ草案デゴザイマシテ、是カラ如何様ニモ變ヘ得ルト思ヒマス

○岡井政府委員 今ノ腹案トシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデスガ、マダホンノ草案デゴザイマシテ、是カラ如何様ニモ變ヘ得ルト思ヒマス

條項ノ變更方關係者ノ爲ニ利益デアル
カ、國家ノ爲ニ利益デアルカ、斯ウ云
フコトヲ變更スルノガ時局ニ適應シテ
居ルカドウカ云フヤウナコトニ付
テ、誤リナク判斷ノ出來ルヤウナ構成
ニ致シタイ、斯様ニ私考(テ)居ルノデ、
今局長ノ申上ゲマシタハ、サウ云
フ意味ニ於テ確定ハシテ居リマセ
ヌケレドモ、アナタノ御質問ニ對シテ
成タケ御質問ヲ避ケル意味ニ於テ、マ
ダ未定稿ノモノヲ發表シタ云フ趣旨
ニ御諒承ヲ賜ハリタイノデアリマス

○左藤委員 只今政府委員ノ答辯ハホ
ソノ未定稿ヲ仰シヤイマシタガ、其
ノ中ニモ既ニ非常ナ非民主的ナ面貌ガ
現ハレテ居ルト思フ、此ノ委員會ノ構
成ヲハツキリシナイデ其ノ儘此ノ法案
ヲ通過スコトハ私ハ一般ノ大衆ニ對シテ
甚ダ相濟マナイと思フ、尙ホ研究中ダト
仰シヤイマスガ、憲法ニ於テモ皇室典
範ヲ參議院法ノ構想ヲ示サナイ限りハ
アノ草案ハ審議出來ナイト云フ要求ガ
アツテ、政府カラ色々案ヲ示サレタノ
デアリマス、此ノ審議ヲ致シマス爲
ニ、此ノ委員會ノ構成運用ト云フコト
ガ一番此ノ改正ノ中心ダト思ヒマスノ
デ、政府ニ於テ十分案ヲ練ツテ、我々委
員會ガ是レヲバト納得シマスヤウナ
モノヲ御示シ戴キタイ、又ソレガ今急ニ
困難デアリマスルナラバ、之ヲ政府ノ
方デ勅令等デ御決メニナラナイデ、必
ズ議會ニ掛ケテ此ノ委員會ト云フモノ
ノ構成ヲ法律條項トシテ、決メテ政府
ノ御用團體ニナラナイヤウニ、官僚ノ
願使ニ甘シテ、形式的ニソレヲ審議
スルト云フコトニ終ラナイヤウナ態度
ヲ、ハツキリ御開明ヲ戴キタイと思フ
ノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ大
臣ノ御所信ヲ伺ヒタイ

○一松國務大臣 御尤モナ御要求デア
リマス、成タケ速カニサウ云フ構想ヲ
練リマシテ、此ノ委員會ノ終了スル前
マデニ之ヲ出スコトニ致シマセウ、但シ
法律案デ之ヲ出スコト云フコトハ今ノ所
考ヘテ居リマスセガ、勅令案ニスル積
リデアリマスカラ、サウ云フヤウナ案
ヲ早速練リマシテ、明日アタリマデニ
御手許ニ差出スコトニ致シマス

○左藤委員 事業經營ノ適正強化ト云
フコトガ謳ハレテ居ルノデアリマス
ガ、現在年金保險等ノ事業費ハドウ云
フ風ナ收支狀態ニナツテ居リマスガ、
是ハ特定局ヘノ割戻トカ、外交員ナド
ノ手當トカ、色々ナコトガ混入ツテ來
ルト思フノデアリマスガ、大體ニ於テ
此ノ額ヲ上ゲルコトニ依ツテ適正強化
ヲシヨウト仰シタルノデアリマスガ、
現在事業費ガドレ位ノ程度ニナツテ居
リマスガ、此ノ額ヲ上ゲルコトニ依ツ
テ、果シテ現在ノ物價高ノ場合ニ事業
費ノ收支ハ必ズ償ツテ行クト云フ、十
分ナル確信ヲ持ツテ居ラツシヤルカド
ウカ、事業費ノコトニ付キマシテ大體
ノ面貌ヲ承リタイト思ヒマス

○岡井政府委員 簡易保險ト郵便年金
ト、是ハ一緒ニナリマシテ簡易保險並
ニ郵便年金特別會計ト云フコトニナツ
テ居リマスノデ、一本ニシテ申上ゲマ
スガ、今年度ノ豫算ニ於キマシテ事業
費四億六千萬圓ト見込シテ居リマス、
是ハ昨年ニ比ベマス二億八千八百萬
ノ増加デアリマス、サウ致シマシテ收
入保險料ニ對スル割合ハ、是ハ年金ハ
別デ省キマスガ、保險ダケノ關係デ收
入保險料ニ對スル此ノ比率ハ二割七分
一厘ニナツテ居リマス、昨年度ハ一割七
分五厘デアリマス、更ニ過リマシテ十
九年度ガ一割三分一厘ト云フコトニナ
ツテ居リマス

○左藤委員 民間保險會社トノ割合ハ
ドウデスカ
○岡井政府委員 十九年度マデハアリ
マス、民間保險會社ト簡易保險ノ事業
比率ハ、一流事業會社ト比率ニ四適シ
テ居リマス、非常ニ此ノ點ハ成績ハ良
カッタデアリマス、二十年度ニ入リ
マシテ從業員ノ大幅ノ待遇改善ヲ續
ヤリマシテ斯ウ云フ結果ニナツタ譯デ
アリマスサウ致シマシテ、此ノ二億八
千二百萬圓ハ新タニ財源ヲ求メナケレ
バナラヌ額デアリマスガ、ドウシテ財
源ヲ求メルカド申シマス、先ツ新契
約ニ付キマシテハ——本年ノ四月カラ
先程問題ニナリマシタ長期還付金ヲ廢
止シマシタ、是ハ新契約デアリマス
ガ、委員會トカ或ハ法律ノ改正トカ云
フ難カシイ問題ハアリマセヌノデ、新
契約ニ付キマシテハ四月カラ廢止シマ
シタ、其ノ外ノ人件費ヲ節約致シタイ
考ヘテ居リマス、是ハマダ手ヲ著ケテ
居リマセヌガ、早速著ケナケレバナラ
ヌコトト思ツテ居リマス、其ノ他色々
事業ノ合理化ヲ圖リ、極力經費ノ節約
ヲ致シタイ、次ニハ積立方式ノ變更デ
アリマス、現在純保險料式デ積立方式
ニ改正致シマス、是デ約一億二千二百萬
圓出ル譯デアリマス、是ハ一番大キイ
額デアリマス、サウ云フ方法ヲ講ジマ
ス外ニ、改正案ニ依リマシテ平均保險
金額ハ上リマス、隨ヒマシテ平均保險
料モズツ上リマス、ソレニ伴ツテ事
業費ガ少クナツテ、所謂附加益ガ多ク
ナリ、是ガ今年ハ五千八百萬圓程度見
込シテ居リマス、ソレカラ平年度デア
リマスガ、今年ハ十月カラヤリマス
ラ五千六百萬圓ニナリマス、一年ヲ通

ジマス、一億二千萬圓ニナリマス、
斯様ナ色々ナリ續リヲ以テマシテヤ
ツテ行ク、此ノ狀態ヲ續ケテ居リマス
ト、約四五年經テマシモ、斯ウ云フ
無理ナコトヲシナイデモ十分經營ガ出
來ルト云フ確信ヲ持ツテ居リマス

○左藤委員 只今人件費ノ問題ガ出
マシタガ、是ハ他ノ委員ノ質問ニ讓ル
致シマス、簡易保險ハ今度民營ヲ許シ
テ行カフト云フ御趣旨デアリマスガ、
是ガ競合狀態ニナツテ、只今申シマス
ルヤウナ、將來ニハ確信ガアルト仰シ
ヤイマシタガ、事業費ナドノ輕減ニハ
非常ニ困難ヲ來シハシナイカ、其ノ他
一方ニハ簡易保險ノ額ヲ上ゲマスル爲
ニ、一般ノ民營保險ニドウ云フ影響ヲ
與ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、
現在ノ民營保險ノ一件當リノ大體平均
額ト簡易保險トノ關係、又簡易保險ヲ
民營ニ許ス爲ニ官營ノ簡易保險ト同様
ニソレレノ經驗ヲ生カシテ、兩方ガ
相並シテ行クト簡單ニ仰シマシテ居リ
マスガ、將來ニ於テドウ云フヤウナ影
響ヲ來スカ、ソレニ對スル當局ノ御見
込、御決心ヲ承リタイト思ヒマス

固ナ基礎ヲ持ツテ居リマス、國民ノ九
割マデガ入ツテ居ル、龐大ナル事業形
態ヲナシテ居リマスシ、一方ニ於キマ
シテ民營會社ニ於キマシテモ非常ナ長
足ナ進歩ヲ致シマシテ、大部分ノ會社
ハ非常ニ基礎ガ鞏固ニナツテ居リマス、
ノミナラズ簡易保險ト普通保險トハ、
各々長年ノ經驗ニ依リマシテ分野ガ
獨占ヲ廢止サレタト致シマシテモ、是
ガ爲メ民營ト競争ヲ起シテ、お互ヒハ
事業ニ惡影響ヲ及ボスコト云フコトハナ
イト考ヘテ居リマス、寧ろ多少ノ競争
ガアリマシテモ、ソレハお互ヒニ切磋
琢磨致シマシテ、其ノ結果保險料ヲ安
クスルト云フヤウナ結果ニナリ加入者
ニ取ツテハ却テ都合デアリナイカト存
ジテ居リマス、更ニ保險金額ヲ五千圓
ニ致シマシタ結果、民營ニ及ボス影響
モ是亦私共ト致シマシテハ心配スル必
要ハナイト考ヘテ居リマス、ト申シマ
スノハ先程申上ゲマシタ通り、民營ニ
於キマシテハ、昭和二十年年度ニ於キマ
シテ既ニ平均額ハ八千五百圓ニナツ
テ居リマス、現在益々是ガ高クナリツ
ツアル傾向ニアリマスノデ、其ノ意味
ニ於キマシテ簡易保險トハ分野ガ違ツ
テ參ツテ居リマス、簡易保險ノ方ヲ五
千圓ニ上ゲマシテモ、是ガ爲メ民營保
險ガ壓迫サレルヤウナコトハナイト信
ジテ居リマス、是ハ私共ガ信ジテ居リ
マスダケデハナクテ、民營保險ヲ監督
致シテ居リマスル大藏省當局ノ意見モ
正ニ其ノ通りデゴザイマスノデ、其ノ
點ハ心配ナイノデヤナイカト考ヘテ居
リマス

○左藤委員 只今非常ニ樂觀的ナ將來
ノ御見透シデゴザイマシタガ、現實ニ
營々辛苦シタ財金ガ打切ラレテ行ク、

又一方物價カラ申シマシテモ、十年、二十年、前々貯金ヲシタ、或ハ保險金ヲ拂込シテ、ソレヲ今受取ル時ノ貨幣價値ト云フモノ、變動カラ申シマシレバ、私ノ最も憂フル所ハ、國民ノ貯蓄心ト云フモノ、ガ果シテ直ツテ行クカドウカ、私ハ道義其ノ他ノ方面カラ餘程ノ努力ヲシナケレバナラヌコトデアリ、私ハ今後ノ斯クノ如キ事業ハ相當ノ困難ヲシナクシテヤナラヌ、唯國家ノ豫算ニ於テ、國家ノ信用ニ於テナルノデアルカラシテ心配ハ要ラナイト云フ風ナ安易ナ御考ヘ方デハ、私共諒承ガ出來ナイト思フデアリマシテ、ソレ以上ハ議論ニナリマスガ、私ハ十分一ツ將來ノ困難ニ對シテ今マデノ役所式ノ仕事デハナクシテ、民營ト相並シテ獨立事業ヲヤツタ時代以上ノ成績ヲ上ゲル爲ニハ、私餘程遺憾當局ノ御奮起ヲ期待シナケレバナラヌト思フデアリマス、尙ホ保險事業ハ大藏省ノ監督デアリマスガ、今度御許シニナリマス簡易保險事業ニ付テモ、ヤハリ大藏省ノ監督、通信省ハ民營ノ簡易保險ニ對シテハ、何等ノ發言或ハ指導權ヲ御留保ナサラナイ積リデアリマスガ、此ノ機會ニ御伺ヒシテ置キマス

○岡井政府委員 法律的ニ申シマシレバ大藏省ノ專ラ監督指導スルコトデアリマシテ、私共ハ法律的ニハ關與出來ナイコトニナツテ居リマスガ、併シ實質的ニ考ヘマス簡易保險ノ消長ト云フコトニ至大ノ關係ガアリマスルノデ、今度許シマシタ簡易保險ノ民營ト云フコトニ付キマシテハ、大藏省當局ト密ニ密接ナル連絡ヲ取リマシテ、遺憾ノナイヤウニヤツテ行キタイト思ヒマス

○左藤委員 從來見マスヤウナ役所ト

役所ト「セクシヨナリズム」ノ弊ヲ再ビ見マセヌヤウニ、其ノ點ニ於テ責任ヲ持ツテ十分ナル御連絡ヲ希望シタイト思ヒマス、尙ホ此ノ機會ニハ是ハ諸願委員會デサウ云フ諸願ガ採擇ニナツテ居リマスガ簡易保險ノ民營ガ許サレマス此ノ機會ニ、今非常ニ氣ノ毒ナ狀態ニナツテ居ル戰災者、引揚者或ハ遺族、斯ウ云フ人々ニ何等カノ形ニ於テ、此ノ簡易保險事業ノ優先的ナ權利ヲ御與ヘニナルヤウ、關係方面ト御連絡願ヒタイ、是非非常ニ重大ナコトデアリ、非常ニ良イ著想デアルト思フデアリマスガ、其ノ點ニ付テ當局ニ何カ御考ヘガオアリデアリマスガ

○岡井政府委員 只今ノ御質問ノ海外カラノ引揚者ノ簡易保險或ハ郵便年金ニ對シ優遇スル

○左藤委員 其ノ人々ニ民營ノ何等カノ優先權ヲ與ヘルカト云フ問題デス

○岡井政府委員 今度獨占ラ廢止シマシテ、民營會社デモ簡易保險ヲ經營スルト申シマスノハ、是ハ私共ノ考ヘテ居リマスノハ、現在澤山會社ガアリマスガ、此ノ會社ガ普通保險ノ傍ラ簡易保險ヲ經營スル、之ヲ許シタイト云フ意味デアリマシテ、今後新タニ簡易保險ノ會社ガ出來テ、ソレガ簡易保險ノ民營トシテ大部分取扱フト云フコトハ想像致シテ居リマス、隨ヒマシテ引揚者ニ民營ヲ許可スルカ云フ問題ハ、私共ト致シマシテハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○左藤委員 厚生省方面トモ御連絡ヲ執ツテ——是ハ諸願委員會デ採擇ニナツテ居ルデアリマス、私共採ツテ參ッタノデアリマス、是ハ凡ユル方面カラ見放サレタ戰災者或ハ引揚者ニ何等カノ仕事ヲ與ヘルト云フ意味ニ於テ、唯

單ニ從來ノ時間ヲ經營シテ居ッタ保險會社、既存ノ資本家ノ肩ヲ持ツダケデナクシテ、應デラレタル惠マレザル人々ニ、私ハ折角ノ此ノ機會ヲ何等カ均霑サセルト云フコトハ、相當私ハ有意義ナ著想デアルト信ズルデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテモ大藏省、厚生省トモ連絡ヲ執ツテ、成ルベクナラバ此ノ委員會ニ一ツ當局ノ御意處ヲ願ヒタイ、之ヲ一寸希望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○一松國務大臣 只今ノ御質問ノ趣旨ハ能ク私ハハッキリシマセメデシタガ、引揚同胞ガ非常ニ困難ナ實情ニアラシテ、簡易生命保險等ノ運用ノ際ニ、斯ウ云フ失業者ヲサウ云フ方面ニ使用シテ生活困難ナラシメヌヤウニシテ與レト云フ御趣旨デスカ

○左藤委員 サウデス、戰災、引揚ノ議員同盟ト云フモノガ出來テヤツテ居ルノデスガ、サウ云フモノガ何等カノ方法ニ依ツテ、相當ニ經濟的ニ基礎ヲ團結サシテ……

○一松國務大臣 サウ云フ趣旨デアリマスレバ、只今岡井局長ノ御答ヘ致シマシタヤウニ、サウ云フ人々向ツテ郵便局ノ經營スル簡易生命保險ヲ、直チニ許ストカ許サストカ云フコトハ出來マス、マイガ、厚生省ヤ大藏省等ト私ハ國務大臣トシテ協力シテ、成タケサウ云フ人ノ失業ト云フモノヲ少クサセル意味ニ於テ、若シハサウ云フ人々一般勸誘員ト云フ方面ニ使ツテ、ソレ等ノ生活ヲ助ケタルト云フヤウナ意味ニ於テノ努力ハ、是ハ致スコトヲ御誓ヒ致シマセウ、其ノ以外ニ簡易生命保險法ノ郵便局ノ經營シテ居ルモノニ付テハ、例ヘバ勸誘員ト云フヤウナモノヲ多分使フ必要ガアラウト思ヒマス

ガ、成タケサウ云フ方面ニハ人物ヲ選ンデ、是ガ適格者デアルト云フコトデアレバ、努メテサウ云フ人々使フト云フコトニ付テハ、通信大臣トシテ十分ノ考慮ヲ拂ヒマス、ソレダケ御諒承ヲ願ヒマス

○左藤委員 私人申シマシタノハ、海外引揚者ノ中ニモ、戰災者ノ中ニモ、相當ノ學識經驗ヲ持ツタ人ガアリマスノデ、サウ云フ人ノ力ヲ結集シテ、引揚者ダケノ團體ガ色々アリマスノデ、厚生省デソレヲ總メテ一ツノ力ニシコウトシテ居ルデアリマスガ、ソレガ總メリマシタ時ニ、サウ云フ團體デ、此ノ場合民營ニ移サレル簡易保險ヲ引受ケテ、相互扶助ノ力ヲ以テ、ソレヲ基礎ニシテ彼等ガ立上ツテ行ク足場ニスルト云フ點ニ於テ、唯單ニ現存ノ保險會社ニ此ノ特權ヲ許スダケデナク、戰災デ最も不幸ナ目ニ遭ツタ人々ノ經濟的ナ立上リノ足場トシテ、之ヲ御許シタル場合ニ優先的ニ御考慮シテ戴クト云フコトノ努力ヲ、厚生省或ハ大藏省ト十分ニ通信大臣トシテノ御意處ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ希望ナノデアリマス、今ノ郵便局ノヤツテ居リマス簡易保險ニ、氣ノ毒ナ人々ヲ使ツテ戴クコトハ勿論デアリマスガ、モウ少シ大キナ意味デ民營ニ移サレル場合ニ既存ノ資本家、ト云ウテハイカニカモ知レマセヌガ、既存ノ保險會社ニ此ノ特權ヲ與ヘルダケデナクシテ、新シイサウ云フ分野ニ、彼等ガ國家ノ生活保護ヲ受ケテ行クデナシニ、自分達ガ團結シテ此ノ事業ヲ經營シテ、ソレヲ足場ニシテ更生シテ行カウト云フ、何カ希望ヲ與ヘル所ノ、サウ云フ一ツノ社會政策的ナ意味ヲ以テ御意處ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ希望ナノデアリマシテ、

其ノ趣旨ヲ念ノ爲ニ繰返シマシテ、御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス

○一松國務大臣 詰リ簡易生命保險ト云フヤウナモノヲ民營ニ移シ、民營ニ移スト云フコトハ少シ語弊ガアリマスガ、簡易生命保險ヲ民營デヤルコトモ出來ルト云フコトヲ認メタルデアリマスカラ、今アナタノ仰シヤウナ種類ノ人々、自分モ一ツ簡易生命保險法ニ從ツテ斯ウ云フ營業ヲヤリタイト云フヤウナ人々ガ、團結ノ力若シハ個人ノ特殊ノ力ニ依ツテソレヲ出願シタ時ニハ、勿論是ハ大藏省ノ所管デアリマスガ、成ベク厚生大臣アタリトモ話合ヒノ上デ、出來ル限リ此ノ趣旨ニ副ヤウニシテ、サウ云フ人ガ更生シテ立上ルコトガ出來ルヤウニシヨウト云フコトハ大變良イ思付デアリマス、是ハ私モ一ツ心カラ協力シタイト思ツテ居リマス

○左藤委員 私人質問ヲ終リマス

○稻田委員長 ソレデハ通告願ニ依リマシテ小池新太郎君

○小池(新委員長) 私人簡單ニ御尋ネヲ致ス積リデアリマス、丁度敗戦後約一箇年ノ經過ヲ致シテ居ルデアリマス、敗戦當時ニ於キマシテハ通信事務ハ非常ニ錯綜ヲ致シマシテ總テ困難ガアツタデアリマス、最近ニ於キマシテハ著々御當局ノ御精勵ニ依リマシテ、色々ノ通信事務モ回復シテ參ッテ居ルデアリマスガ、我々ガ未ダニ遺憾ニ存ジテ居リマスノハ、第一ニ電信事務ノ如キモ、最近至急電報ヲ受付ケテ居リナガラ發信ヲ怠ツテ居ル、又受付ヲサツテ居ツテモ、其ノ受取リマシタ電文ハドウニモ解釋ガ付カナイト云フヤウナコトガ非常ニ多イノデアリマス、其ノ他總テ郵便物ノ集配ニ致

シマシテモ、市内便ニ依ル遠達郵便ガ
十數日モ掛ツテ居ルト云フヤウナ現狀
ガ非常ニ多イノデアリマス、料金ヲ段
段ト昇騰致シマシテ、社會ノ觀聽ハ此
ノ遞信事務ニ相當注目シテ居ルノデア
リマス、今一層ノ御當局ノ御精勵ニ依
リテ刷新セラレハルノガ急務デハナイ
カト私ハ考ヘルノデアリマス、食糧ノ
不足トカ、又色々支障ガゴザイマシ
テ、待遇改善ニ付キマシテハ大臣ノ御
英斷ニ依テ解決ヲ致シテ居ルノデア
リマスガ、今日從業員ノ方々ガ適材適
所デハナイノデハナイカト云フヤウニ
モ考ヘルノデアリマシテ、大刷新ヲ行ツ
テ裁キタイ、サウシテ今一ツ國民ガ不
便ヲ感ジテ居リマス點ニ大臣トシテ相
當ノ御抱負ガアリハシナイカ、斯様ニ
考ヘマシテ御尋ネテ致スノデアリマ
ス、御答辯ヲ願ヒマス

○一松國務大臣 小池君ノ御質問ハ御
尤モデアリマス、此ノコトハ實ハ私ガ
就任前カラ非常ニ之ヲ痛感ヲシテ居タ
ノデアリマス、況ヤ此ノ遞信行政ノ局
ニ當リニ至リマシテハ、一層其ノ責任
ノ重ナルコトヲ感ジテ居リマシテ就
任當日カラ斯クノ如キ弊害ハ之ヲ徹底
的ニ是正シカケレバナラズト云フ考ヘ
ヲ持ツテ居リマシテ、關係當局ノ人々
ト時間ノアル毎ニ之ヲ打合セマシテ、
是正スベク努メテ居ルノデアリマス、
今小池君ノ仰セニナリマシタヤウニ、
至急電報ヲ受理シナガラソレガ普通電
報ヨリ後ニ著ク、或ハ三時間カ四時間
デ用テ達シテ居ツタ電報ガ四日モ五日
モ掛ル、或ハ迅速便デ投函シタモノガ
甚ダシキハ十日モ掛ルト云フヤウナコ
トデ、非難ノ聲ガ到ル處ニ多イノデア
リマス、以前ハ御承知ノ如ク遞信省ノ
電報ナリ、郵便物ノ配達ナリハ非常ニ

敏速ニ行ハレテ居リマシテ、隨分文化
ノ促進トカ、人類ノ幸福トカ云フ方面
ニ絶大ナ寄與ヲ致シテ居ツタノガ、此
ノ戰爭ニ入り、殊ニ戰後ニ於テサウ云
フ弊害ノ甚ダシイコトハ洵ニ相濟マ
ス譯デアリマス、斯ウ云フコトニ付キマ
シテハ之ニ關係スル從業員其ノ人ノ手
不足、無經驗、或ハ道德ノ頹廢トカ云
フヤウナコトモ、ゴザイマス、物の
方面カラ致シマシテモ、使用スル機
械、器具ノ不足、毀損、或ハ配達用具
ノ不足トカ、制度ノ方面カラ見マシ
テモ餘リニ手數ガ煩雜ヲ加ヘルヤウナ
機構ニナツテ居ル、或ハ汽車、電車等
ノ急行ノ減少トカ、是等ノ運行ノ不
圓滑トカ云フヤウナ色々原因ガア
ルデアリマセウガ、之ヲ一ツ／＼是正
致シマシテ、サウシテ國民ノ信頼ニ副
フト云フ考ヘテ以テマシテ、先刻申シ
マシタヤウニ各局課長並ニ係員ガ、是
等ノ點ヲ深く反省ヲ致シマシテ、之ヲ
是正スベキコトニ今著々進メツ、アル
ノデゴザイマス、殊ニ電話ノコトハ今
御話ガアリマセマシタクレドモ、今
日電話器ヲ目ノ前ニ見ナガラ、掛ケテ
見レバ故障トカ或ハ御話中ダトカデ
中々掛ラナイ、今日ハ掛ツタクレドモ
明日ハモウ掛ラナイト云フヤウナコト
モアリマス、サウ云フコトハ一刻
モ早く改メナケレバナラズト云フコト
デ、實ハ本月一日カラ九月末マデ滿二
箇月間ニ、東京都内ニ於ケル電話事故
ヲ全クナカラシメルト云フ一大運動ヲ
今起シテ、著々サウ云フ點ニ向ツテ是
正ニ努メテ居リマス、獨リ東京都バカ
リデハアリマセウ、之ヲ大阪、神戸、
名古屋、廣島、福岡ト云フヤウニ段々
都市カラ都市ニ及ンデ是正シヨウト今
努力致シテ居リマス、又電話ノ急遽ノ

施設ト云フ點ニ付キマシテ、皆様方ニ
對シテモ電話ヲ直チニ架設シテ、其ノ
御用ヲ徹底的ニ務メテ戴カナケレバナ
ラヌニ拘ラズ、貴衆兩院議員ノ御宅ニ
電話ノ架設ガ急速ニ出來ヌト云フヤウ
ナ非難モ受ケテ居リマス、サウ云フコ
トモ急速ニヤリタイト云フ考ヘテ持ツ
テ居リマスガ、御承知ノ通りソレニハ
又資材モ必要缺クベカラザルモノデア
リマスガ、思フヤウニ資材ガ手ニ入ラ
ナイ、斯ウ云フコトニ付キマシテモ關
係方面ニ御願ヒシテ、外國カラ輸入ス
ルヤウニデモシテ、急速ニ之ヲ實施シ
ヨウト考ヘテ實行ニ移シツ、アリマス
カラ、其ノ邊ハ一ツ御諒承ヲ賜ハリマ
シテ、今暫クノ御辛棒ヲ御願ヒ致シタ
イト思ヒマス

○小池新委員 大變了解ヲサセテ戴
ク御答辯ヲ得マシテ、私心カラ嬉シク
存ジテ居リマス、都市ノ方カラ御心配
ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、田舎
ニ於キマシテモ電話ノ交換手等ハ、五
分待ツテモ十分待ツテモ交換シテ呉
ナイト云フ現狀ニアルノデアリマシ
テ、我々ノ郷里ニ於キマシテハ郵便局
ノ取扱ニ對シテ非常ニ不滿ガ喧々囂々
トアルノデアリマス、今大臣ヨリ御説
明ノアリマシタ通り、出來ルデ早ク
此ノ遞信事務ニ付キマシテ刷新セラレ
マスヤウニ御願ヒ申上ゲル次第デアリ
マス

次ニ郵便貯金ナリ又郵便年金、簡易
生命保險等ノ貯蓄獎勵デゴザイマス
ガ、終戦後始シテ此ノ獎勵ガナイノデ
アリマス、又獎勵ナリマシタ所デ
アノ敗戦當時デアリマスカイ、誰一人
トシテ之ニ心ヲ傾ケル者ガナカッタノ
デアリマス、併シナガラ最早一年ニモ
相成リマシテ、農山漁村等ニ於キマシ

テハ、現在ニ於テ非常ナ實金ノ値上リ
ト共ニ、貯ヘテ居ル金ガ相當アルノデ
アリマス、之ヲ何トカ御獎勵ニナリマ
シテ、購買力ノ抑制ト「インフレ」防止
ノ爲ニ努メラレタイト私ハ考ヘルモノ
デアリマス、今日田舎ノ郵便局ニ於キ
マシテハ唯通信事務ノミデ、從來ノ集
金ヲスルト云フ位ナ程度ニ止マツテ居
ルノデアリマス、是ハ一ツ零細ナ餘剩
力ヲ吸收スルコトガ、遞信省トシテノ
役目デアラウト考ヘルノデアリマス、
更ニ今回郵便貯金ノ最高制限額ガ一萬
圓ニ引上ゲラレマシタノハ是ハ當然ノ
コトト思フノデアリマス、現在ノ貨幣
價值カラ云ツテ一萬圓ハマダ低キニ失
スルノデナイカ、一萬圓位デハ他ノ貯
蓄機關トノ競争ハ到底出來ナイノデア
リマス、現ニ一萬圓以上ノ預金ハドン
ドン局トシテモ御取扱ヒニナツテ居ル
ヤウニ私ハ考ヘテ居ル、是ガ一萬圓ト
スルト、一萬圓以上御預リニナツテ居
ルモノハ返済ヲサナセバ相成ラスヤウ
ナコトニナルノデハナイカト思フ、又
確カニ一萬圓ヲ限度トサレマス、一
萬圓以上預ケテ居リマスル貯金者ニ對
シマシテ利キハドウ云フ風ニナサル御
考ヘデアルカ、一萬圓以上ノ預金者ハ
一萬圓マデノ利キハ支拂フガ、一萬圓
以上ハ無利子デアル、斯ウ云フ結果ニ
ナルノデハナイカト思フ、サウ致シマ
スト自然郵便貯金ハ激減スルノデア
ナイカト私ハ考ヘル、此ノ點ニ付キマ
シテ郵便貯金ナリ、郵便年金ナリ、又
ハ簡易生命保險等ノ獎勵ノ方法ニ付
テ、具體的ニ御考ヘニナツテ居リマス
ル點、又一萬圓ハ低過ぎ、又一萬圓
以上ノ現在貯金者ニ對シテ一萬圓マデ
ハ利子ヲ付ケルガ、後ハ付ケナイト云
フ御考ヘデアリマスルカ、一應此ノ點

ヲハツキリ御答ヘテ願ヒタイト思フノ
デアリマス

○一松國務大臣 只今ノ御質問ノ中
デ、交換手ノ不親切ガ、貯金ノ獎勵ナ
ドニ付テ御答ヘラシマシテ、只今ノ
一萬圓以上ノ利息云々ト云フコトハ、
政府委員カラ御答ヘ致シタイト思ヒマ
ス、小池委員ノ御質問ノヤウニ交換手
ハ非常ニ不親切デアアル、是ハモウ一般
ノ輿論デアリマス、交換手バカリデヤ
アリマセウ、郵便局ノ窓口ニ居ル所ノ
女事務員、若シハサウデナイ事務
員、殊ニ女ノ事務員ナドガ、世間ノ批
評ニ上ツテ居リマス、實ニ不親切ガ、
交換手アタリデモコチラガ例ノ機械ヲ
廻シテ呼出スヤウナ時デモ、劍モホロ、
ノ扱ヒデアル、機械仕掛ノ呼出ト云フ
ヤウナコトニ付テモ中々出テ來ナイ、
宿直シテ居リナガラ幾ノ呼ンデモ出テ
來ナイ、中川政務次官ノ如キハ、自分
ノ郷里ノ秋田縣ニ電話ヲ掛ケルノニ、
急報デ何度掛ケテモ出テ來ナイカラシ
テ、成度電話ノ輻湊シナイヤウナ夜
中ヲ見計ラツテ掛ケタクレドモ、ソレ
デモ出テ來ナイ、漸ク三回目ニ掛カッ
タト云フヤウナコトデ、政務次官ソレ
自身ガ既ニ御不滿デアルト云フ有様デ
アリマス、是ハドウシテモ改メナケレ
バナラナイ、殊ニ二十歳以下ノ女子ノ
從業員ナドガ不親切ト云フコトハ言
語道斷デアアル、ヨク木デ薄ヲカンダヤ
ウナ挨拶ト云フガ、サウ云フヤウナ接
摺ト仕方デアル、是ハドウシテモ是正
シナケレバナラヌト云フヤウナ考ヘラ
持ツテ居ル、サウ云フヤウナ不親切ハ
近イ中ニ全ク拂拭シテシマフ考ヘテ持
ツテ居リマスルカ、其ノ點ハ一ツ御不
滿デモアリマセウガ、暫ク御待テテ願
ヘレバ、ア、實ニ氣持ノ好イ交換手ニ

ナツタ、氣持ノ好イ窓口ニナツタト云フヤウナ、朗ラカナ事柄ガ餘リ遠カラヌ中ニ實現シヨウト思ヒマス、ソレカラ郵便貯金、年金、簡易保險等ノ獎勵ガ、ドウモ今マデナカッタデヤナイカト云フヤウナコトニ對シマシテハ、是ハ私就任後日ガ淺イノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ハ果シテドウデアアルカ分リマセヌガ、殊ニ今何ノヤウナ簡易保險ノ金額ヲ値上シタコトカ、或ハ年金ノ制限額ヲ上ゲタト云フヤウナコトニ對シマシテハ、今マデノヤウナ從業員ガドウカト云フト思リ勝チデ、世間ノ信用ヲ失墜シタト云フヤウナコトヲ改メテ、待遇ノ改善ヲセラレタ自分等ハ、斯ウ云フ態度デハイケナイト云フヤウニ、自分カラ自滿自戒シテ、サウ云フコトノナイヤウニスルト同時ニ、成タケ此ノ民衆ノ不滿不快ヲ買ハナイヤウニ努力シヨウト云フヤウナ氣配ガ、段々芽生エテ行ツテ居ルコトヲ私ハ看取シテ居リマス、サウ云フヤウナ狀況デアリマスルカラ、一ツ此ノ改正案ノ通過ト同時ニ、從業員ヲ獎勵致シマシテ、サウ云フヤウナ所謂農村漁村等ニ於ケル澤山蓄積セラレテ居リマスル貯金等ヲ之ヲ吸收致シマシテ、サウシテ「インフレ」對策ノ資料ニモシ、貯蓄心モ養成スルト云フコトニ努力シタイト考ヘテ居リマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ御注意ハ洵ニ有難ウゴザイマシタ、成タケ之ヲ急速ニ行ツテ、御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、貯金ガ一萬圓以上ノモノニ利息ヲ付ケルカ付ケヌカト云フコトハ、事務當局カラ御答ヘシテ戴クヤウニ致シマス

○岡井政府委員 現在ハ五千圓デアリマスガ、將來ハ一萬圓ニナリマス、此

ノ制限額ヲ超過シタ場合利子ヲ付ケルカドウカト云フ御趣旨ノ御質問デアルト存ジマス

○小池(新)委員 現在既ニ一萬圓以上御預リニナツテ居ル、五千圓以上御預リニナツテ居ルモノガ澤山アリマス、ソレニ對スルモノデアリマス

○岡井政府委員 法律的ニ嚴格ニ取扱フト致シマスレバ、是ハ貯金法第六條ニ於キマシテ、郵便官署デ其ノ超過額ニ相當スル國債ヲ購入シ、之ヲ保管スル、若シハ郵便貯金利率令第五條ニ依リマシテ、超過額ニ對シテハ主務官廳ノ命令デ利率ヲ低減シ得ルコト、此ノ二ツノ中ノ一ツノ方法ヲ執ラナケレバナライ譯デアリマスガ、現在五千圓以上ヲ預入シテ居ルノハドウ云フ譯デサウ云フコトニナツタカト考ヘテ見マスト、是ハ主トシテ去年三月ノ金融緊急措置ノ爲ニ預圓ヲ一度ニ吸收致シマシタ、其ノ際ニ、手持ノ澤山ノ現金ヲ持ツテ來タ爲ニ、斯様ナ結果ニナツタノカト思ヒマスガ、其ノ際ニ郵便局ニ於テ五千圓以上ハ取扱ハナイト云フコトデアリマシタナラバ、是ハ其ノ時ノ措置ガ非常ニ圓滿ニ行カナイト云フコトヲ考慮致シマシタノデ、五千圓トナツテ居リマスルニ拘ラズ、ソレ以上預入ヲ受付ケタ譯デアリマス、サウ致シマシテモ、其ノ後ノ處理ニ於テ、先程申シタヤウニ國債ヲ買ハストカ、或ハ利率ヲ引下ゲルトカ云フコトヲシナケレバナラスノデアリマスガ、其ノ利率ヲ引下ゲルト云フコトハ取扱ガ非常ニ煩鎖ニナリマスノデ、未ダ曾テヤツタコトデアリマス、ソレカラ國債ヲ政府デ購入シテ保管スルト云フ取扱ハ、戰爭前マデハ實行シテ居リマシタガ、戰時中ニナリマシテ、事務ガ非常ニ煩鎖

シタニ拘ラズ、人員ガ不足シタ關係上、是ガ出來ナイデ今日ニ至ツタヤウナ狀態デアリマシテ、國債ヲ購入シテ保管スルト云フ手續モマデ現在ハヤツテ居リマセヌ、併シナガラ今回一萬圓ニ引上ゲマシタナラバ、此ノ機會ニ法律ノ命ズル通り履行シテ、一萬圓超過額ニ付テハ國債ヲ購入シテ廻ハス、此ノ取扱ヲ開始致サナケレバナラスト思ヒマシテ、其ノ準備ヲシテ居リマス

○小池(新)委員 私ノ御尋ネシタノハ、五千圓以上御預リニナツテ居ルト云フコトモ能ク分リマスガ、今度此ノ一萬圓ト云フコトニナル改正法律案ガ通過シテ實行サレルマデノ間ノ利子ハドウ云フ風ニ相成リマスカ

○岡井政府委員 ソレハ先程申シタ通り何等特別ノ措置ヲシテ居リマセヌカラ、五千圓以下ノ金額ト同ジヤウニ、普通ノ利子ヲ便法トシテ付ケテ居リマス

○小池(新)委員 次ニ御尋ネ致シマスガ、戰時中ニ彈丸切手トカ色々ノ方法ヲ以テ貯蓄ヲ獎勵セラレテ居ツタノデアリマス、ソレガ據置貯金等ニナリマシテ、是ハ一定ノ據置期間ガアルノデ、是ガ満了シタ場合ニハ國民、兒童等ニ於テモ、此ノヤウナ零細ナモノヲ勝ツ爲ニ奮發ヲ致シテ居ツタノデアリマス、満了致シマス際ニハ之ニ直チニ新圓デ支拂フノデアルト云フヤウナ御意思ガゴザイマセヌデセウカ、是ハ確カニ小額ナル貯金デアリマスカラ、今後ノ貯蓄ノ獎勵ノ一助ニモ私ハナルダラウト思ヒマス、些細ナ金額デアリマスカラ是非共斯ウ云フ方法ニヤツテ戴キマシテ貯蓄ノ獎勵ヲシテ戴キタイト御願ヒ申上ゲル次第デアリマス、之ニ對シマシテ御當局ハドウ云フ御考ヘヲ

持ツテ居リマスカ御尋ネ致シタイ

○岡井政府委員 切手貯金ノ支拂ヲ現金デアル考ヘハナイカト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、只今ノ所當局ト致シマシテハサウ云フコトヲ考ヘテ居リマセヌガ、尙ホ能ク其ノ必要アリヤ否ヤ、又は是ガ爲ニ他ノ貯蓄ニドウ云フ影響ヲ與ヘルカト云フ點ナドモ考究致シタイト思ヒマス、然レ後ソレガ宜イト云フコトニナリマシタラ實行致シタイト思ツテ居リマス

○小池(新)委員 此ノ點ハ溫情大臣ニ御願ヒ致シマス、小サナ問題デアリマスガ、貯蓄ノ獎勵ニハ斯ウ云フコトガ一番有效適切ナ方法ダト思ヒマス、ドウカ十分御考ヘヲ願ヒマシテ、是非小類ナモノニ對シテハ溫情味ヲ以テヤルト云フ御志ニ御願ヒ致シタイノデアリマス、之ヲ以テ質問ヲ打切りマス

○一松國務大臣 只今ノ小池君ノ最後ノ御希望ハ能ク諒得致シマシタ、出來ル限り事務當局ト考究致シマシテ、十分善處致シタイト思ツテ居リマス

○稻田委員長 〆レデハ本日ハ之ヲ以テ審議ヲ打切りマシテ次會ハ大體明日午前十時ヨリト致シマシテ、次會ノ審議日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後零時十三分散會